

## 第4回 足羽川河川空間利活用促進懇談会 議事概要

日 時：平成20年10月1日（水）

場 所：AOSSA601会議室

出席者：別紙資料参照

○ 桜づつみの保全工事の状況等について事務局より補足説明を行った後、分科会に分かれて意見交換を行った。また、分科会終了後に全体会議を行い、福原会長進行のもと両座長から分科会が出た意見を報告してもらい集約を行った。なお、より幅広く市民の方から意見を聞く為、10/18にパネルディスカッションを開催する事について説明を行った。

### ○ 委員からの主な意見

#### (1) 水辺空間利活用分科会での意見

分科会が出た意見（座長報告）は以下のとおり。

- ・ 堰のメリット・デメリットを明確にしてほしい。
- ・ 桜のトンネルに代わる新しい魅力となるアイデアが必要ではないか。
- ・ 河川敷に「温水路」のような浅い水路を設置し、みんなが安全に利用できる施設ができないか。
- ・ 低水護岸の捨て石部分に、菜の花を咲かせて水辺が華やかになるように取り組んでいきたい。
- ・ 護岸に沿って照明を付けるなど、福井ならではの仕掛けができないだろうか。
- ・ 潜り橋や飛び石等の対岸に渡る為の施設を設置してはどうか。
- ・ 水辺に近づけるような緩斜面や浅瀬等の工夫も必要ではないか。
- ・ 堰以外でも、床止工の利用した多様なアイデアがあってもいいのではないか。
- ・ 光のモニュメントなども水辺空間に取り入れてはどうか。
- ・ 「川の語り部」のような川に近づきやすい楽しみがあったほうが良い。
- ・ どういった魚がいるのかわかれば、釣り人等が増えるのではないか。
- ・ もっと積極的な取り組みや河川愛護の気運を高める必要がある。

#### (2) 河川敷の利活用分科会での意見

分科会が出た意見（座長報告）は以下のとおり。

- ・ 現在の施設を利用して、グラウンドゴルフを楽しめるようにしてほしい。
- ・ ワンドを使った自然観察会など、自然にふれあう教育の場として河川敷を利用す

ることが必要である。

- ・ マラソンなどで距離標等の整備が必要である。
- ・ 福井の春の風物詩として、鯉のぼりを復活させたらどうか。
- ・ バリアフリーに配慮し、舗装面の状態（補修）にも気を配ってほしい。
- ・ 住民と行政との連絡体制、連携を今後も図る必要がある。
- ・ 使う側と地域の方との相互理解や連携を深める必要がある。

### (3) 会長のコメント

- ・ 他の河川とは違った利用の方法があるのではないかと、少し見えて来たような気がする。
- ・ ローカルティのある活用のしかたや、福井人の気質が、河川利用の中に入ってくれば、すばらしいものができあがり、後世につながっていくと思う。
- ・ 福井豪雨が、足羽川の利活用を考える機会となり、これをなんとか活かしていくことが、我々の使命でもあるように思う。
- ・ こういった内容のことを18日のフォーラムでもやっていきたいと思う。

### ○ 今後の予定

10月18日（土） パネルディスカッション（市民との意見交換）